

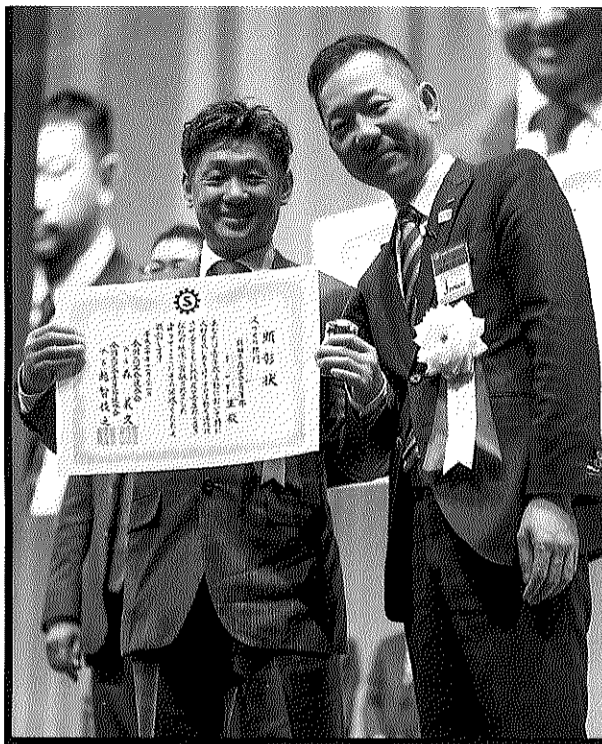
銚田市商工会青年部会報



Enjoy 青年部 (微 明)

No.39 平成30年度版
発行日 平成31年3月吉日
編集 銚田市商工会青年部会報委員会
発行者 銚田市商工会青年部 部長 飯島寿博
〒248-2-1 銚田 2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents(目次)
P1. 商工会青年部全国大会顕彰人づくり部門受賞!
P2. 銚田にぎわい祭り
P3. 絆プロジェクト・主張発表
P4. 野球大会・キッズサッカー
新入部員紹介・マラソン大会
市長との懇談会・編集後記



平成三十年十一月二十一日、第二十四回商工会青年部全国大会 広島大会において全国顕彰「個人の人づくり部門」を受賞いたしました。



商工会青年部全国大会顕彰人づくり部門受賞! 田上 隆生

この顕彰受賞は、これまで多くの事を教えていただいた先輩方、事務職員の皆様、そして青年部員の皆様の多くのサポートがあつてからこそその受賞だと感じております。

顕彰には、全国商工会青年部連合会が定める基準があり、それに茨城県青連での書類審査と関東ブロック大会での書類及びプレゼン審査が必要でした。

の原稿が出来上がり、拝見させてもらいました。原稿作成に携わっている飯島部長や仲田副部長からは自分がこんな風に見えるのだと思ひ、少し照れくさくなりしました。

しかし、「絶対に全国顕彰を取りに行く」、部長や仲田君の熱い思いは、留まる事を知りませんでした。ほんの些細なミスでも評価が大きくなる関東ブロック大会は脅威です。

き渡りました。多彩な表現の数々、絶妙な言い回し。五分間というプレゼンの持ち時間を最大限活用し五分ピッタリ収める事ができました。

はじめに、2年間の任期中、こんな自分勝手な私に付き合ってくれた部員の皆様に心から感謝を申し上げます。

に過重な負担をかけてしまった事は申し訳なく思っております。ただ、限界までやってみて、どんな景色が見えたでしょうか?

確認の連絡があるくらいでした。作成された書類に目を通した時、今まで自分が青年部活動を通して何を行ってきたのかを改めて振りかえされる瞬間でした。

お陰様で、茨城県青連での書類審査は無事に通過、茨城県代表として切符を手にしました。

一方、この2年間には多くの挑戦の機会をいただきました。親会の皆様より委ねていただきました中心市街地活性化事業「銚田にぎわい祭り」は銚田市の多大なるバックアップの元、2年続けて盛大に開催させていただきました。

部長の任を解かれる今になって、「もっと、委員会活動を盛り立てて、委員長や副委員長たちを主役にできたらかったな。」

結びに、私に関わってくれたすべての皆様へ御礼申し上げますと共に、次代へ続く銚田市商工会青年部への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

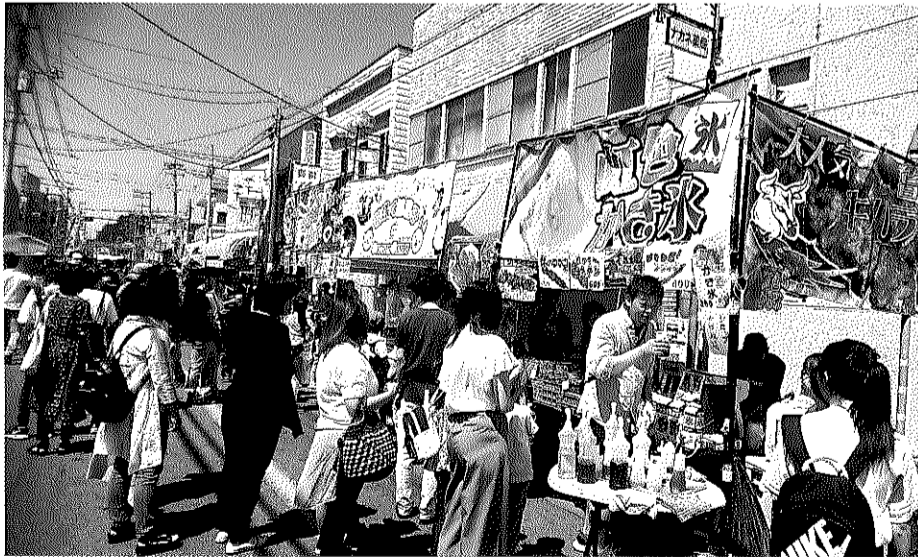
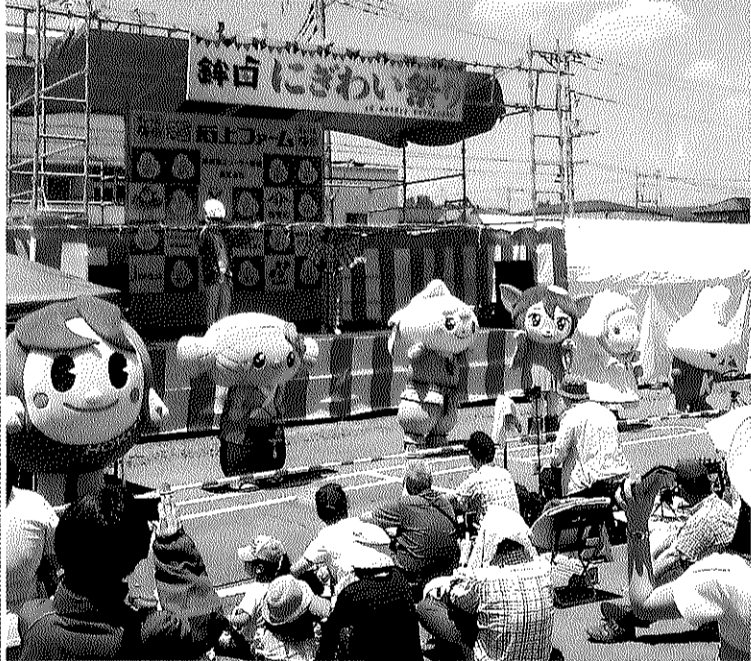


飯島 寿博



2018開催!

# 銚田にぎわい祭り



## にぎわい祭りを 終えて



仲田 雅人

まずは、ご協力いただきました商店街の皆様方、ご協賛いただきました関係各所の皆様方、青年部OBの先輩方、県内の青年部の同志、そして、飯島部長をはじめ、単会の部員の皆様、改めて厚く御礼申し上げます。

実行委員長を拝命してから、自分たちができることは何なのか？と自問自答の日々が始まり、銚田市の魅力をどうすれば伝えられるか、銚田を盛り上げるためには、やはり銚田に来てもらうことが一番と考えました。そこで、JAほこた様、JA茨城旭村様のご協力のもとメロンを食べて募金をしてもらおうブースを作ったり、銚田市の飲食店の皆様に自慢の惣菜を作ってもらったおかずフェスというイベントをやってみたり、市外の人たちには銚田を知ってもらおうきっかけに、市内のひとたちにはもっと銚田を好きになってもらうために、青年部一丸となり突っ走りました。

当日は前回よりも多い約1万5千人もの来場者があり、大いににぎわいました。しかし、周りからやってよかったという声も多い反面、段取りや時間帯など改善点も多く指摘されました。

イベントは人が来たけど、終わってみれば閑散とした商店街。その光景を目の当たりにして、問題点の改善と故郷の魅力をもっと多くの人に発信できるように青年部の仲間たちと頑張っていこうと強く心に刻みました。



### 絆プロジェクト 2019



中山 惣夫

二〇一九年二月二日、二年に一度の県青連の事業である「絆プロジェクト2019」が開催されました。

この絆プロジェクトは茨城県内四三の全ての単会から一人ずつ青年部員が実行委員として任命され、次世代を担う青年部員の資質向上や県内の青年部員が集結し、部員間の相互交流・懇親の場を生み出すことにより、茨城県商工会青年部二千人の「絆」を結ぶ為に行う事業です。

準備期間は約一年を擁し、二〇一八年五月二九日に水戸にて第一回実行委員会が開催され、根本会長をはじめ県青連役員「絆プロジェクト」歴代の実行委員長、前回の実行委員経験者などを含め総勢九十名以上の会議となりました。立候補により、実行委員長は東海村商工会青年部の富永さんに決定し、県北、中央ブロックは広報事業（物産展）、新筑、県西ブロックは交流事業（懇親会）、そして私たち、鹿行ブロックのチー



ムは研修事業（講演会）を担当することになりました。その後、研修チームは行方市、牛久市、鹿嶋市で会議と懇親会を重ねる内に打ち解け講演をして頂く講師、講演のテーマ、内容なども順調に決まっていきました。

そしていよいよ事業当日、場所は東海村文化センター。広報チーム担当の物産展には鉾田市商工会青年部、中城光広君が出店してくれました。私たち研修チームは講演会のリハーサルを重ね、ついに講演会の時間です。まず、平成二七年九月の豪雨被害地である常総市の青年部を務める相山隆司氏から被災しての教訓や備えについてご教授いただき、元北海道日本フアイトーズヘッドコーチの阿井英二郎氏から「人と人をつなぐリーダーシップ」というテーマの講演をしていただきました。お二方ともすばらしい講演でした。その後の交流会では、「マダロ解体ショー」や青年部関連の〇×クイズなどで、おおいに盛り上がりしました。

この「絆プロジェクト2019」で茨城県内全ての単会メンバーと一つの事業を成功させる為に協力し合うことでできた貴重な体験や仲間は、私にとって大きな財産になりました。ありがとうございました。

### 主張発表



坂口 弦太

「今、こうしてこの場に立っていることがとても信じられない、鉾田市商工会青年部、坂口弦太90キロ、35歳、独身です。」

こんな冒頭で始まった7月12日のつくば国際会議場での主張発表会。3月に部長から指名をいただいたが、当初は文章能力が低い自分が、「なんで俺なんだ」「やりたくない」「できないよ」と、思っていました。しかし経験者の田上先輩、大槻先輩からアドバイスをいただき決心しました。そして部長をはじめ、教育委員会のメンバーが連日、原稿の校正に協力してくれました。

原稿も練習もギリギリまで仕上げられませんでした。それでも自分の委員会である地域振興のメンバーが練習に付き合ってくれ何とか形になっていきました。毎日20回読むという目標を立てて読み込み、当日も現地に行く前に練習をしたのですが緊張のあまり失敗ばかり、練習に付き合ってくれたメンバーはさぞかし心配だったことでしょう。そして本番、発表順はなんと一番、緊張しながら登壇したときスポットライトに照らされた瞬間に自分のスイッチが入ったのがわかりました。練習の時の嘘のようにスラスラと喋れて役者になったかのような感じでした。入賞することができませんでした。が大勢の部員の応援で力をいただいたことに感謝します。また、経験を積んでリベンジもありかと思いましたが、「逆境を力に にぎわい創りは挑戦の先に」



### 第50回茨城県商工青年の主張発表会

主催：茨城県商工会連合会 / 協賛：茨城県商工会青年部連合会 後援：茨城県 / (株)茨城放送

### 青年部 野球大会



眞家 吉貴



勝ったが勝負に負けるという形になってしまいました。当日参加した部員の皆様には大変御迷惑をおかけしましたが、皆、楽しかったから大丈夫だよと声を掛けていただきました。大会の優勝は鹿嶋市商工会青年部となりました。来年は我々が県大会に出場出来るように皆と戦いたいと思います。そして昔のような強い鉾田を復活させたいと思います。最後に御協力いただいた皆様、部員の皆様ありがとうございました。そしてすいませんでした。

平成三十年七月二十三日、神栖海浜球場にて商工会野球大会が行われました。ここ数年、初戦敗退が続いている我々青年部。しかし今年は野球経験のある部員が加入し戦力アップ！初戦突破を目指し前年度優勝の行方市商工会との初戦に挑みました。今回の大会が夏休み期間中だったこともあり、私の息子、中学二年生と小学四年生も応援の為に一緒に連れていきましたが、そこで事件が起きました。行方市商工会との試合は見事に勝利を収めました。人数不足に悩む我々鉾田市商工会青年部は、部員の息子（私の息子）を試合に出場させてしまいました。その為不戦敗となり試合には

### 鹿行 キッズサッカー



大貫 謙三

平成三十年九月二十二日に第十五回鹿行キッズサッカー2018が開催されました。



今年は、鹿島アントラーズの試合の都合もあり、カシマスタジアムの開催ではなく、鉾田市総合運動公園での開催となりました。子供達にとっては、夢のカシマスタジアムでのプレイが出来ず、ちよっぴり残念だった事だと思いますが、天候にも恵まれ笑顔あふれる素晴らしい大会になったと思います。

閉会式には、アントラーズユースから昇格が決まった沖選手も駆けつけて下さり、大会に花を添えて下さいました。また、大会後には、鹿行青年部の交流を含めたフットサル大会が行われ、子供達も顔負けの白熱した試合が繰り広げられました。

鉾田市商工会青年部唯一のサッカー経験者の僕は、イニエスタばりのスループスを連発しましたが、残念ながら最下位に終わりました。そんなこんなで、子供達から大人まで楽しめた素晴らしい大会だったと思います。サッカーって素晴らしい！！



### 第15回 鹿行キッズサッカー2018

平成30年度  
銚田市商工会青年部事業

- 4月 青年部総会
- 6月 銚田にぎわい祭り  
絆感謝運動  
鹿行ブロックゴルフ大会
- 7月 主張発表会  
鹿行ブロック野球大会
- 9月 関東ブロック大会  
鹿行キッズカップ
- 10月 銚田火花大会  
銚田うまかつフェスタ
- 11月 青年部全国大会
- 12月 ほこたハーフマラソン大会  
クリスマス前夜祭
- 1月 青年部新年会
- 2月 銚田市長との懇談会

# 平成30年度 新入部員紹介



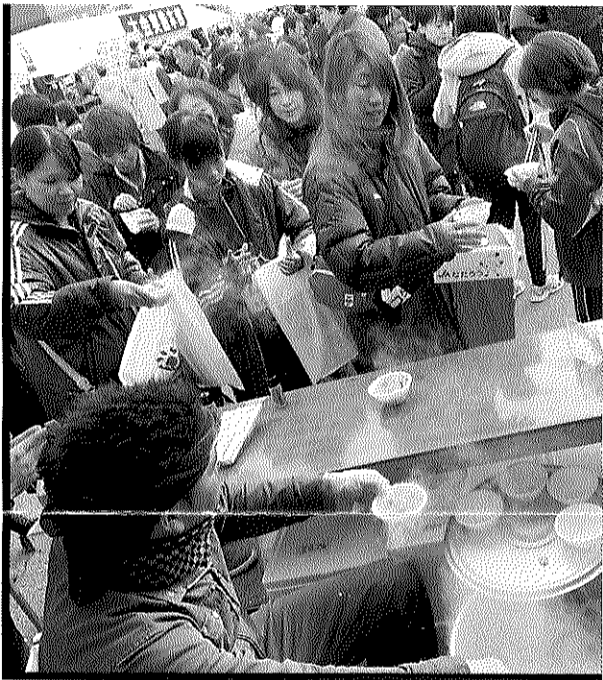
株式会社 宏信工業  
鬼澤直也



たか美  
高崎悦夫



ファミリーマート 銚田飯店店  
西野正樹




二〇一八年十二月十六日(日曜日)に銚田市のマラソン大会がありました。そこで商工会青年部として豚汁を無料で配る事業に参加させていただきました。マラソン大会が始まった時から豚汁無料配布事業はやっていました。

私が銚田市商工会青年部に入ってから、毎回参加させてもらっています。毎年どう配れば、残らず、最後のランナーまで配れるかが問題になります。答えは出ません(笑)

しかし!!今回の配分はいい感じに、ほとんど残らずに配れました!!一重に今までの経験が蓄積された結果なのではないでしょうか!!

前回のマラソン大会では最後のランナーまで配れなかった。今回はランナーの方はもちろんボランティアの方まで配れて本当によかったです。

最近ではハーフマラソンもやるようになり、ランナーの参加人数も増え、銚田市マラソン大会もだいぶ盛り上がりつつあります!!商工会青年部の代表的な事業になってきたのかなと思います。そこで銚田市商工会青年部が豚汁を無料で配ることが銚田市商工会の宣伝になりますし、地域との繋がりもでき、地域貢献として素晴らしい事業だと思いました。



銚田市商工会青年部事業  
マラソン大会の豚汁配り!  
渡辺拓哉

## 市長との懇談会



平成三十一年二月二十六日、銚田市商工会におきまして銚田市長との懇談会が行われました。

まず市長よりこれからの銚田市のビジョンのお話を頂きました。今まで銚田市の魅力を全国に発信し続けてきたなかで、平成二十九年度に高速道路が開通し、首都圏から見ると銚田市が近くなり、銚田市に来て頂けるようになった事で今まで以上に魅力を発信しやすくなった事。県の政策として平成32年度からは県内10高を中高一貫校にする計画の中、銚田一高が選ばれた事や市内小中学校全てに暑さ対策をするなど、教育に今まで以上に力を入れていく事。

子育て世代に手厚い保障を考えている事や銚田市からの転出をどう防ぐか。そのために大きな企業や工場を誘致している事。そして市内道路を見直し通りやすいようにまた利便性を良くし近隣の市町村との流れを作る事等、現在進んでいることやこれからの課題を聞かせて頂きました。

また政策秘書課の竹内課長から市長のお話の補足として、市内のこれからの人口の移り変わりや銚田市で行われている子育て・仕事・教育・医療等の支援や今年から開始する補助金等の計画を説明頂きました。

今まで漠然と分かっていただけでしたがグラフ等で改めて確認するとやはり高齢化社会・人口減少・子育て世代の転出・転入を防ぐにはどうするか、そ

それには、銚田市の各種団体との連携を強くしていかなければならないです。私達商工会青年部も銚田市や各種団体と協力し一丸となり、今まで以上に魅力や価値を市内外に発信し銚田に生まれて、生活して、移住して良かったと言ってもらえるように頑張ります。

最後に市長・竹内課長から銚田市の財産であり一期一会を大事に、これからも色々な事に挑戦してほしい、それがこれからの地域を魅力あるものにする力だと、大変嬉しいそして責任を感じるお言葉を頂きました。協力くださった皆様、そして参加頂いた皆様、ありがとうございました。又公務が多忙の中来て頂いた岸田市長・竹内課長本当にありがとうございます。これからも銚田市商工会青年部を宜しくお願い致します。



## 編集後記

本年度も無事に微明を発行することができ、肩の荷が下りました。発刊にあたり過去の微明を商工会のホームページから読ませていただきましたが、過去の活動が一目でわかり、改めて微明が素晴らしいものと実感しております。

5月から新年号に変わりますが、昭和、平成と先輩方が紡いでこられた微明は、新年号になっても永く続いていくべきものと思います。

最後に、微明作成に携わっていただいた事務局、部員の皆様、ありがとうございます。  
(広報委員長 佐竹真之)



求む!!  
新入部員

私達と青年部活動を試みませんか

